

令和 3 年度用 SUNSHINE ENGLISH COURSE

学習者用デジタル教科書を 活用した授業展開例




1年 PROGRAM 9





A Trip to Finland


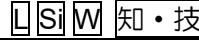
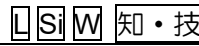
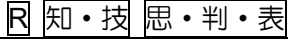
本課の目標

- 過去のことにについて表現することができるようにする。
- フィンランドの様子について話すことができるようにする。
- 過去にしたことにについて、意欲的にやり取りしようとする。

課の指導計画

学習者用 デジタル 教科書 基本操作	<p>学習者用デジタル教科書でできる主なこと</p> <p>学習 アイコンをクリックすると、動画、音声を利用できる。音声は下記に示されている機能を選択することで、場面に適した調整ができる。</p>  <p>読み方 : 再生のパターン (通常/チャンク/役割) 文表示 : 英文の表示 (あり/役割/なし) チャンク : 意味のまとまりの区切りの表示 (あり/なし) マスク : 特定の語や文を隠す機能 (新出語/品詞分け/単語選択/文選択) カラオケ : 音声とともに文字色が変わる [文字が消える] 機能 (あり/消える/なし) はやさ : 音声の読み上げ速度 (はやい/ふつう/おそい) 読み間隔 : 文と文の間の再生間隔 (長い/短い/なし) 和訳 : (あり/部分和訳/指定和訳 (クリックすると訳を表示) /和訳のみ/なし)</p> <p> アイコンをクリックすると  教科書の文字を読み上げることができる。「ここをよむ」は、任意に選択した文のみ、「ここからよむ」は指定した文以降を止めるまで読み上げる。</p>
扉 Scenes	<p>【扉】でできる主なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学習 「(〇〇と) △△の話を聞きましょう」の音声を聞くことができる。「スクリプト」をクリックするとスクリプトが表示され、はやさ、読み間隔、和訳の表示を選択して、音声を再生することができる。 <p>【Scenes】でできる主なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学習 2コマのマンガのやり取りの音声再生と文字表示の機能のほかに、①2コマのマンガのアニメ (字幕あり/なし)、②英語のしくみ (文法の説明動画) が利用できる。 • 右ページの Listen と Speak & Write については、「扉でできる主なこと」と同じ機能が利用できる。

<p>Think</p>	<p>【Think】でできる主なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文ページ上の  をクリックすると大きな文字で教科書本文を表示し、「学習者用デジタル教科書でできる主なこと」で示した機能を使って音声や文字に関する調整ができる。 本文ページ下の Q&A の  をクリックすると、大きな文字で Q を表示し、「はやさ」「読み間隔」「和訳」を調整できる。
<p>Retell</p>	<p>【Retell】でできる主なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> Retell のページ上に  アイコンがあり、クリックすると Retell 専用のページが表示される。最初のページには「①本文を通してもう一度音読し、内容を確認しましょう。」が表示され、「②・③へ」をクリックすると、Retell にあらかじめ用意されているキーとなる単語を削除、または、語を入力したり、写真を追加したりできる。
<p>Interact</p>	<p>【Interact】でできる主なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ここでは、基本的に教科書の指示に従って Word Box を使って対話をするので、 アイコンをクリックして、例文の音声を聞くことができる。


時間	主な学習活動	評価規準例
<p>第 1 時</p>	<p>【扉／Scenes 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 扉の写真やリスニングを通して、本課の内容を想像させる。 一般動詞の過去形（規則変化）の用法を理解し、週末にしたことについて表現する。 	<p><知識> 一般動詞の過去形（規則変化）などの意味や働きを理解している。</p> <p><技能> 一般動詞の過去形（規則変化）などの意味や働きの理解をもとに、週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 </p>
<p>第 2 時</p>	<p>【Scenes 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の過去形（不規則変化）の用法を理解し、週末にしたことについて表現する。 	<p><知識> 一般動詞の過去形（不規則変化）などの意味や働きを理解している。</p> <p><技能> 一般動詞の過去形（不規則変化）などの意味や働きの理解をもとに、週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 </p>
<p>第 3 時</p>	<p>【Scenes 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の過去形（疑問・否定）の用法を理解し、3 日前にしたことについて表現する。 	<p><知識> 一般動詞の過去形（疑問・否定）などの意味や働きを理解している。</p> <p><技能> 一般動詞の過去形（疑問・否定）などの意味や働きの理解をもとに、3 日前にしたことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 </p>
<p>第 4～6 時</p>	<p>【Think 1～3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の確認・音読練習をする。 フィンランドの生活や文化について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> フィンランドの様子について話すために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えている。 フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している 

第7時	【Retell】 ・本文の音読をし、本文の内容について自分のことばで話す。	・フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。 Sp 知・技 思・判・表
第8時	【Interact】 ・過去にしたことについて表現する。	・相手にわかってもらえるように、過去にしたことについて、伝え合っている。 Si 知・技 思・判・表 主

第1時の目標

- ・週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。
- ・【D.教師】：指導者用デジタル教科書，【D.生徒】：学習者用デジタル教科書
- ・デジタル教科書が使用可能な活動にはなるべく多く記載しているが、実際の授業では担当者の必要に応じて選択することが望ましい。

授業の流れ

指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
扉（15分）	<p>○導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扉の写真を見て、Thinkの内容を想像する。 <p>T: Look at this picture. What's this? S: It's aurora. T: Yes, it is. It's very beautiful. It's in Finland. (世界地図の白地図を見せながら) Where is Finland? Do you know? S: (生徒は指をさす。) T: Yes, you are right. There are many interesting things in Finland. Do you know anything about Finland? Please tell me. (生徒から出てきたことを全員でシェアする。) T: OK. Let's listen to Ms. Miller.</p> <p>○リスニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミラー先生の話を読み、Thinkの内容を把握する。 ・【D.教師】学級全体にミラー先生の話を読ませて大意を把握させる。 ・【D.生徒】各自で数回聞いて詳細を確認させる。必要に応じてスクリプトを利用してもよい。 <p>○新出語句の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語の意味や発音を、フラッシュカードや【D.教師】などを使って確認する。 ・【D.生徒】生徒は  の読み上げ機能で、音読練習時に発音がわからない単語の音声を聞いて確認する。 	<p>○単元の最初の授業なので、課全体の学習が楽しみになるように写真を効果的に提示する。</p> <p>○生徒の発言に関連するピクチャーチャートや写真を見せて、フィンランドへの興味を高める。インターネット上にあるオーロラの動画も可能であれば見せる。</p> <p>・メモを取りながら聞くように伝える。特に数字や国名を書き取らせる。</p> <p>・指導者用デジタル教科書には、フラッシュカード機能がある。</p>


<p>Scenes 1 (30分)</p>	<p>○マンガの内容確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹き出し部分が空欄のマンガ（ワークシート）を見せ、どんな話をしているのかペアで考えさせる。 【D.教師】Scenes 1 のやり取りの音声を聞かせる。 会話を何回か音読したあと、空欄の吹き出しにせりふを書かせ、そのあと教科書でチェックする。 【D.生徒】各自の PC で音声を聞き、テキストを確認する。 【D.教師】Scenes のアニメーションを見せる。 吹き出しの英文の和訳を黒板に提示し、ペアでそれを見ながら英語を言う練習をする。 <p>○Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> アンとサムの対話を聞き、質問に答える。 新出語の意味や発音を、フラッシュカードや【D.教師】などを使って理解する。 <p>○Speak & Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 例にならない、自分が週末をどのように過ごしたのかをペアで対話する。 <p>A: I watched TV last Sunday. How about you? B: I played tennis last Sunday.</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話後に、話した英文を書く。 	<p>○ A couch potato の意味を予想させてから、「ソファに寝そべりテレビばかり見ている人」という実際の意味を伝える。クイズ形式で楽しく考えさせるとよい。教師は少しずつヒントを与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【D.生徒】個別に各自の PC で音声を聞きながら練習可能。 【D.生徒】個別に各自の PC で音声を聞きながら取り組める。スクリプトも表示可能。 【D.生徒】個別に各自の PC で音声を聞きながら例文の練習可能。スクリプトも表示可能。 <p>○辞書を活用する。</p>
<p>本時の振り返り (5分)</p>	<p>○振り返り 自己評価カードに記入する。</p> <p>○宿題の確認</p>	<p>○自己評価カードとワークシートを回収する。</p>

第2時の目標

- 週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。

授業の流れ



指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
<p>Try① (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻末資料 11 のアクションカードの絵をペアで見て、1つを選び、していることを英語で表現する。 【D.教師】【D.生徒】 Jump で、アクションカードなどの巻末資料を表示することも可能。 <p>A: A boy is cleaning his room. B: A girl is closing the book.</p>	<p>○現在進行形の復習をしながら、即興性を身に付ける。</p>
<p>復習 (10分)</p>	<p>○前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで昨日のこと（黒板に使用可能な規則動詞を提示）について時間も付け加えて、英語で1分間話す。 <p>(例) I cleaned my room at six. I studied English at seven. (黒板に提示する規則動詞の例)</p>	<p>○規則動詞の過去形を復習する。</p> <p>○聞き手は、相手が話しやすくなるようにあいづちや感想を入れる。教科</p>

	<p>cleaned, studied, played games, used my smartphone, listened to ～, watched TV, cooked, walked, worked, talked, visited, washed など</p> <ul style="list-style-type: none"> • まず教師が、それを使って話し、モデルを提示する。 • 次に生徒は、ペアで昨日のことについて話す。 • ペアをかえて合計 3 回行う。 	<p>書 p.110 の 1 の Word Box 下 2 行を参考にする。</p> <p>○くり返し話して改良させていく。</p>
<p>Scenes 2 (30 分)</p>	<p>○マンガの内容確認</p> <ul style="list-style-type: none"> • 吹き出し部分が空欄のマンガ（ワークシート）を見せ、どんな話をしているのかペアで考えさせる。 • 【D.教師】 Scenes 1 のやり取りの音声を聞かせる。 • Scenes 2 のやり取りの音声を聞かせる。 • 会話を何回か音読したあと、空欄の吹き出しにせりふを書かせ、そのあと教科書でチェックする。 • 【D.生徒】 各自の PC で音声を聞き、テキストを確認する。 • 【D.教師】 Scenes のアニメーションを見せる。 • 吹き出しの英文の和訳を黒板に提示し、ペアでそれを見ながら英語を言う練習をする。 <p>○Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> • アンとサムの対話を聞き、質問に答える。 • 新出語の意味や発音を、フラッシュカードや 【D.教師】 などを使って理解する。 • 【D.生徒】 生徒は  の読み上げ機能で、音読練習時に発音がわからない単語の音声を聞いて確認することができる。 <p>○Speak & Write</p> <ul style="list-style-type: none"> • 例にならい、自分が週末をどのように過ごしたのかをペアで対話する。 <p>A: I read a book last Sunday. B: I took pictures last Sunday.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 対話後に、話した英文を書く。 	<p>○won another one の意味を考えさせる。生徒の考えをいくつか聞いてから「当たりくじのついたアイスを食べたのでもう 1 本もらったこと」を伝える。だから、won を使っている。買った場合は bought になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【D.生徒】 個別に各自の PC で音声を聞きながら練習可能。 • 【D.生徒】 個別に各自の PC で音声を聞きながら取り組める。スクリプトも表示可能。 • 【D.生徒】 個別に各自の PC で音声を聞きながら例文の練習可能。スクリプトも表示可能。 <p>○辞書を活用する。</p>
<p>本時の振り返り (5 分)</p>	<p>○振り返り 自己評価カードに記入する。</p> <p>○宿題の確認</p>	<p>○自己評価カードとワークシートを回収する。</p>

第3時の目標

- ・3日前にしたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。

授業の流れ


指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
Try① (5分)	<p>○コミュニケーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料 11 のアクションカードの絵をペアで見て、Aがある1枚のカードを指して質問し、Bはそれを英語で表現する。 ・【D.教師】【D.生徒】  で、アクションカードなどの巻末資料を表示することも可能。 <p>A: What is he doing? B: He is cleaning his room.</p>	<p>○現在進行形の復習をしながら、即興性を身に付ける。</p> <p>○ランダムに素早くカードを指して、答えるようにする。</p>
復習 (10分)	<p>○前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで巻末資料 15 の「朝起きてから寝るまで」を参考に、昨日の様子を時間とともに英語で表現して伝える。 (例) I'd like to talk about yesterday. I got up at six. I ate breakfast at six thirty. I put on my uniform at seven. ・まず教師が、それを使って話し、モデルを提示する。 ・次に生徒は、ペアで昨日のことについて話す。 ・ペアをかえて合計3回行う。 	<p>○不規則動詞の過去形を復習。</p> <p>○挿絵の順番ではなく、自分のした順番に話す。</p> <p>○くり返し話して流暢さを高める。</p>
Scenes 3 (30分)	<p>○マンガの内容確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出し部分が空欄のマンガ(ワークシート)を見せ、どんな話をしているのかペアで考えさせる。 ・【D.教師】 Scenes 1 のやり取りの音声を聞かせる。 ・Scenes 3 のやり取りの音声を聞かせる。 ・会話を何回か音読したあと、空欄の吹き出しにせりふを書かせ、そのあと教科書でチェックする。 ・【D.生徒】 各自のPCで音声を聞き、テキストを確認する。 ・【D.教師】 Scenes のアニメーションを見せる。 ・吹き出しの英文の和訳を黒板に提示し、ペアで見ながら英語を言う練習をする。 <p>○Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健二とメグの対話を聞き、質問に答える。 ・新出語の意味や発音を、フラッシュカードや【D.教師】などを使って理解する。 ・【D.生徒】 生徒は  の読み上げ機能で、音読練習時に発音がわからない単語の音声を聞いて確認することができる。 	<p>○too の意味「～過ぎ」を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【D.生徒】 個別に各自のPCで音声を聞きながら練習可能。 ・【D.生徒】 個別に各自のPCで音声を聞きながら取り組める。スクリプトも表示可能。


	<p>○Speak & Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 例にならい, 3 日前に何をして過ごしたのかをペアで対話する。 <p>A: Did you play tennis three days ago? B: No, I didn't. A: What did you do? B: I watched a soccer game.</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話後に, 話した英文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 【D.生徒】個別に各自のPC で音声を聞きながら例文の練習可能。スクリプトも表示可能。 <p>○辞書を活用する。</p>
本時の振り返り (5分)	<p>○振り返り 自己評価カードに記入する。</p> <p>○宿題の確認</p>	○自己評価カードとワークシートを回収する。

第4時の目標

- フィンランドの様子について話すために, フィンランドについての会話文を読んで, 概要や要点を捉えることができる。

授業の流れ

指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
復習 (5分)	<p>○前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末資料 11 のアクションカードや巻末資料 15 を見ながら, 疑問文や否定文を使って, 昨日したことを時間とともに表現し, しなかったことも英語で表現して, ペアで1分間 chat をする。 <ul style="list-style-type: none"> 【D.教師】 【D.生徒】  で, アクションカードなどの巻末資料を表示することも可能。 <p>A: What time did you get up yesterday? B: I got up at six. I ate breakfast at six thirty. Did you play baseball yesterday? A: Yes, I did. I played it at four. Did you clean your room yesterday? B: No, I didn't. I didn't clean my room.</p> <ul style="list-style-type: none"> まず教師がモデルを提示する。 次に生徒は, ペアで昨日のことについて話す。 	○一般動詞過去形の疑問, 否定の復習をする。
Try② (5分)	<p>○コミュニケーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校で好きだったことや頑張ったことについて話す。 <p>A: I liked math very much. I studied it very hard. B: Yes. You studied it very hard. I played soccer very hard.</p>	○相手の発話にリアクションする。(あいづち, くり返し, 質問, 感想など)
Think 1 (35分)	<p>○導入</p> <p>T: Do you know about saunas? People in Finland like saunas very much. Many people have one at</p>	○オーロラについては扉ページの写真を紹介する時に十分触れておく。


	<p>home. Please listen to the first part of PROGRAM 9. Let's study about Finland more.</p> <p>○新出語句の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語の意味や発音を、フラッシュカードや【D.教師】などを使って確認する。 ・【D.生徒】生徒は  の読み上げ機能で、音読練習時に発音がわからない単語の音声を聞いて確認することができる。 <p>○本文を聞かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者用デジタル教科書【D.教師】やCDなどの音声を視聴させ、本文の下のQ&Aを確認する。必要に応じて【D.生徒】を各自で聞く。 <p>○音読練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Read and Look upなどの練習を取り入れながら、本文の内容を理解し、暗唱してロールプレイができるレベルになるまで練習を行わせる。 ・【D.生徒】を使って各自で練習する。 	<p>ここでは、サウナについて深める。</p> <p>○生徒が意識して聞くことができるように、聞き取りのポイントを英語の質問にして、黒板に提示する。</p> <p>○ストレスやイントネーション、正しい英語の音に留意させながら音読の練習をする。</p>
本時の振り返り (5分)	<p>○振り返り 自己評価カードに記入する。</p> <p>○宿題の確認</p>	○自己評価カードを回収する。

第5時の目標

- ・フィンランドの様子について話すために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。

授業の流れ

指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
復習 (5分)	<p>○Scenesの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで Scenes 1, 2の吹き出しの英文の和訳を見ながら英語を言う練習をする。 ・【D.生徒】を使って各自で練習する。 ・数ペアに発表してもらおう。 	○感情を込めてスキットを演じるようにする。
Try② (5分)	<p>○コミュニケーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で好きだったことや頑張ったことについて話す。前時とは違うパートナーと対話する。 	○相手の発話にリアクションする。(あいづち, くり返し, 質問, 感想など)
Think 2 (35分)	<p>○導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーチャートや【D.教師】を使って、本文の内容について導入する。 <p>T: What is Finland famous for? (生徒からの反応を待つ。)</p>	


	<p>T: Maybe you know about saunas and Moomin but there is a famous person. He wears red clothes. He gives presents to children all over the world on December 24. Who is he? (生徒からの反応を待つ。)</p> <p>T: He is Santa Claus. I know one more famous thing from Finland. It's a candy. The name is <i>salmiakki</i>. Many people like it, but it's not sweet. You can find <i>salmiakki</i> candies and drinks. They are very popular in Finland.</p> <p>○新出語句の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語の意味や発音を、フラッシュカードや【D.教師】などを使って確認する。 ・【D.生徒】生徒は  の読み上げ機能で、音読練習時に発音がわからない単語の音声を聞いて確認することができる。 <p>○本文を聞かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者用デジタル教科書【D.教師】やCDなどの音声を視聴させ、本文の下のQ&Aを確認する。必要に応じて【D.生徒】を各自で聞く。 <p>○音読練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Read and Look upなどの練習を取り入れながら、本文の内容を理解し、暗唱してロールプレイができるレベルになるまで練習を行わせる。 ・【D.生徒】を使って各自で練習する。 	<p>○生徒が意識して聞くことができるように、聞き取りのポイントを英語の質問にして、黒板に提示する。</p> <p>○ストレスやイントネーション、正しい英語の音に留意させながら音読の練習をする。</p>
<p>本時の振り返り (5分)</p>	<p>○振り返り 自己評価カードに記入する。</p> <p>○宿題の確認</p>	<p>○自己評価カードを回収する。</p>

第6時の目標

- ・フィンランドの様子について話すために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。

授業の流れ

指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
<p>復習 (5分)</p>	<p>○Scenesの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで Scenes 2, 3の吹き出しの英文の和訳を見ながら英語を言う練習をする。 ・【D.生徒】を使って各自で練習する。 ・数ペアに発表してもらう。 	<p>○感情を込めてスキットを演じるようにする。</p>

Try③ (5分)	<p>○即興スピーチ (ペアで1分ずつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 先週したことを話す。特に先週末の様子について、次のように話すことを指導する。 <ol style="list-style-type: none"> I'd like to talk about last week. (挨拶) I went to Tokyo last Saturday. (トピック) I saw Tokyo Skytree. (トピックの詳細) It was very high and beautiful. (感想) After that, I went to Asakusa. (次の話題) 	<p>○左のフォーマットの例を黒板に提示しておく、生徒は即興スピーチしやすくなる。</p>
Think 3 (35分)	<p>○導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ピクチャーチャートや【D.教師】を使って、本文の内容について導入する。 T: You can see reindeer on the road in many places in Finland. They live in the forests. You can eat reindeer meat in Finland. It's very good. Do you know about the white night? In the northern part of Finland, you can go out any time without lights because it is bright outside. The sun doesn't go down until midnight in June and July. Let's study about the white night and polar night. <p>○新出語句の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出語の意味や発音を、フラッシュカードや【D.教師】などを使って確認する。 【D.生徒】生徒は  の読み上げ機能で、音読練習時に発音がわからない単語の音声を聞いて確認することができる。 <p>○本文を聞かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> 【D.教師】やCDなどの音声を視聴させ、本文の下のQ&Aを確認する。必要に応じて【D.生徒】を各自で聞く。 <p>○音読練習</p> <ul style="list-style-type: none"> Read and Look upなどの練習を取り入れながら、本文の内容を理解し、暗唱してロールプレイができるレベルになるまで練習を行わせる。 【D.生徒】を使って各自で練習する。 	<p>○白夜と極夜について深める。できれば、インターネット上にある情報や写真を活用する。</p> <p>○生徒が意識して聞くことができるように、聞き取りのポイントを英語の質問にして、黒板に提示する。</p> <p>○ストレスやイントネーション、正しい英語の音に留意させながら音読の練習をする。</p>
本時の振り返り (5分)	<p>○振り返り 自己評価カードに記入する。</p> <p>○宿題の確認</p>	<p>○自己評価カードを回収する。</p>

第7時の目標

- ・フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。

授業の流れ



指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
復習（10分）	<ul style="list-style-type: none"> ○Think（本文）の音読 ・Retell のページに載っている語句をフラッシュカードや【D.教師】で確認する。 ・ペアと一緒に【D.生徒】などを活用し Think の音読練習をさせる。 ・教科書や【D.生徒】の Retell のページに載っている写真や絵を提示し、それについて質問をする。 	○質問の答えをつなぎ合わせると、Retell の発表になるようにする。
Retell（35分）	<ul style="list-style-type: none"> ○練習と発表 ・写真や絵、語句の中から話せそうなものを選ばせ、ペアで確認させる。【D.生徒】の場合は、単語を追加できるので、各自の状態に合わせて調整可能。 ・5分間ペアと一緒に練習させる。（上記2つの活動をセクション数分くり返す。） ・3名1組となり、セクションごとに分担してクラスで発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【D.生徒】を使用して練習することも可能。
本時の振り返り（5分）	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返り 自己評価カードに記入する。 ○宿題の確認 	○ワークシートと自己評価カードを回収する。

第8時の目標

- ・相手にわかってもらえるように、過去にしたことについて、伝え合うことができる。

授業の流れ

指導過程	教師及び生徒の活動	指導上の留意点
復習（10分）	<ul style="list-style-type: none"> ○即興スピーチ（ペアで1分ずつ） ・先週したことを話す。特に先週末の様子について、次のように話すことを指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ①I'd like to talk about last week.（挨拶） ②I went to Tokyo last Saturday.（トピック） ③I saw Tokyo Skytree.（トピックの詳細） ④It was very high and beautiful.（感想） ⑤After that. I went to Asakusa.（次の話題） ・そのスピーチをノートに書く。書いたあとは、全員でノートを机の上に開いて、なるべくたくさんの英文を読む。 	○左のフォーマットの例を黒板に提示しておくと、生徒は即興スピーチしやすくなる。

<p>Interact 1 (17分)</p>	<p><過去にしたことを表現しよう> ○ペアで昨日や先週末の話をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを昨日か先週末のどちらかに決めて、ブレーンストーミングで出来事をノートに箇条書きにする。(1~2分) ・出来事の横に、詳細と感想を書き加える。(2~3分) ・そのメモを参考に、ペアで対話する。 ・違うパートナーと対話する。 ・時間があれば、対話を思い出してノートに英文を書く。 ・【D.生徒】生徒は  の読み上げ機能で、例文の音声を聞いて確認することができる。 	<p>○Word Box の上 2 行の表現は出来事の例で、下 2 行はあいづちの例。</p>
<p>Interact 2 (18分)</p>	<p><過去にしたことをたずね合おう> ○1~4 のことを相手が昨日したかどうかを質問する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例の英文を読んで内容を把握する。 ・個人で質問と答えの練習をする。 ・ペアで活動する。 ・時間があれば、自分で例文とは別の質問を考えて対話する。 ・【D.生徒】生徒は  の読み上げ機能で、例文の音声を聞いて確認することができる。 	<p>○応答が、Yes, I did. だけではなく、反復していることに注意させる。</p>
<p>本時の振り返り (5分)</p>	<p>○振り返り 単元全体を振り返って、自己評価カードに記入する。 ○宿題の確認</p>	<p>○ノートと自己評価カードを回収する。</p>